

6. 教員の養成に係る教育の質の向上に係る取り組み

1. 全学的レベルでの質的向上の仕組み

事務部長、事務部次長、総務課長、教務課長、学生課長、入試広報課長、呉羽キャンパス事務室事務長、その他学長の指名する者によって組織される「富山国際大学スタッフ・デベロップメント（SD）推進委員会」が策定する「富山国際大学教職員研修実施方針」に基づき、事務職員及び教育職員の研修を実施している。事務職員の研修と教育職員の研修を包括してとらえる制度と組織のもと、教職課程に関する事務や教職課程上の科目の教育にも関わる、職員の能力開発及び資質向上を目指した研修を組織的に行っている。

2. 学部レベルでの教職課程の検討・改善への取り組み

富山国際大学学務委員会の下部組織である教職課程委員会及び認定課程を有する子ども育成学部において、必要に応じ教職課程科目を含む教育課程の検討と改善を行っている。大学及び学部の設置趣旨と教員養成の理念に基づき、小学校における英語教育の充実の必要性、質の高い幼児教育の必要性、自然体験活動の必要性、子どもの貧困などをふまえた子どもの生活と発達との統合的視点、子ども家庭福祉の視点の重要性など、時代と地域社会の課題や必要性を踏まえつつ、教育課程を見直している。

3. 学生の学びの機会の充実

教員をめざす学生にとって有益な経験を、教育課程の内外を通じて提供するため、以下のように組織的な取り組みを行っている。

① 市町村教育委員会との連携事業への取り組み

富山市、高岡市及び南砺市並びに富山市教育委員会、射水市教育委員会との連携協定に基づいて各種事業に希望学生を派遣している。

② 教育にかかわる今日的課題解決のためのフォーラム及びセミナーの開催

本学部主催の公開フォーラム及びセミナーを毎年1回開催し、子どもの成長発達とその環境にかかわる今日的な課題をめぐって、教育・保育・福祉など県内外の関係者と学生が共に実践や研究を交流しながら、これからの子ども育成の在り方を探っている。また、富山県と連携して実施する「富山県寄付講義」として招聘講師による講義を授業内で毎年実施している。

③ 教育現場におけるボランティア活動及び学習支援の展開

1年次開講の「地域社会参加活動」では、富山県障害者スポーツ大会に運営補助員として参加したり、教育・保育・福祉・その他の分野において選択的に多様なボランティア活動を行ったりする中で、子どもの生活・発達とその育成環境である地域社会の現状と課題を学んでいる。また、富山県教育委員会と連携し、教職課程を履修中の学生を対

象に、教育現場で子どもの理科学習をサポートする「観察実験アシスタント」等への参加を1年次から積極的に推進している。

4. 学生の声を生かした指導体制及び授業改善

① 履修カルテの活用

「教職実践演習」には現場経験のある科目担当者を配置し、履修カルテを活用した授業展開を行っている。また、学生自らが期ごとに履修カルテを記入して学びの確認を行い、ゼミ担当教員との面談を通して今後の学びの目標を設定している。

② 授業アンケートの実施

前期・後期それぞれの期間内に授業アンケートを実施し、授業内容及び方法の改善に向けた取り組みを行い、学生に公開している。

5. きめ細かなキャリア支援体制

① キャリア入門・支援講座の実施

1年次のキャリア入門講座及び2年次以降のキャリア支援講座を授業として開講し、現任教諭からの講義や、富山県教育委員会と連携した教員採用試験についての説明会を行っている。また、教員採用試験対策（筆記試験、志願書添削、面接、模擬授業など）や教職を目指す学生へのアドバイスについては、教職科目担当者全員及び教職経験のあるキャリア支援センター参事が随時担当し、きめの細かい指導を行っている。

② 公務員・教員採用試験対策講座の実施

「公務員・教員採用試験対策講座」を2年次から導入し、A（公務員）コースとB（小学校教員）コースに分かれ、外部講師（PSES 公務員試験セミナー）の講義を受ける中で、教職への意識を高め、学習態度の形成に役立てている。

③ 「富山に学ぶインターンシップ」の推進

3・4年次開講の「富山に学ぶインターンシップ」では、80時間以上の就業体験を課しており、現場での学びを通して専門職のあり方を実践的に理解する機会を設け、2・3年生に向けての報告会も毎年行っている。また、幼稚園教諭・保育教諭を目指す学生については、短期間の研修を自主的に行えるよう、組織的に運営している。

以上